



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社ブリヂストン
 コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 資金部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東大名福

(氏名) 津谷 正明
 (氏名) 吉瀬 武尚
 配当支払開始予定日

TEL 03-3563-6985
 平成24年9月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,488,970	2.0	133,785	42.9	128,981	40.4	75,266	39.1
23年12月期第2四半期	1,459,125	5.3	93,628	19.4	91,880	35.2	54,115	21.6

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 96,865百万円 (4.7%) 23年12月期第2四半期 92,526百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	96.17	96.10
23年12月期第2四半期	69.14	69.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,789,105	1,252,557	43.5
23年12月期	2,677,344	1,165,673	42.2

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,214,450百万円 23年12月期 1,130,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年12月期	—	16.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,130,000	3.5	287,000	50.0	269,000	50.0	172,000	67.0	219.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	813,102,321 株	23年12月期	813,102,321 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	30,439,447 株	23年12月期	30,441,046 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	782,661,812 株	23年12月期2Q	782,662,539 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想については、平成24年2月16日に発表した予想を修正しております。当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。なお、詳細は、(添付資料)P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(5) セグメント情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績全般

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	14,889	14,591	+298	+2
営業利益	1,337	936	+401	+43
経常利益	1,289	918	+371	+40
四半期純利益	752	541	+211	+39

当第2四半期連結累計期間(2012年1月1日から2012年6月30日)の当社グループを取り巻く環境は、原材料・素材価格が総じて高値で推移し、為替は円高が継続する中、国内においては、依然として厳しい景気状況にあるものの、復興需要や車両販売回復の動きなど持ち直しの動きも見られました。海外においては、景気は、米国では緩やかな回復基調にありますが、欧州では財政危機が实体经济に影響を及ぼし厳しい状況が続きました。また、アジアにおいても、中国やインドでは、景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「タイヤ会社・ゴム会社として名実共に世界一の地位の確立」の達成に向け、グローバルで高い競争力を持つ商品の拡販や供給能力の増強、生産性の向上、技術優位性の強化、そして経営資源の効率的活用などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、需要構造や競争構造などの事業環境の変化がかつてない速さで進行する中、市場の需要動向への迅速な対応を進めるとともに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大、環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は14,889億円(前年同期比2%増)となり、営業利益は1,337億円(前年同期比43%増)、経常利益は1,289億円(前年同期比40%増)、四半期純利益は752億円(前年同期比39%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	億円 12,375	億円 12,212	億円 +162	% +1
	営業利益	1,196	897	+299	+33
多角化部門	売上高	2,604	2,451	+153	+6
	営業利益	140	38	+102	+267
連結 合計	売上高	14,889	14,591	+298	+2
	営業利益	1,337	936	+401	+43

タイヤ部門では、国内外市場において魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を下回りましたが、新車用は自動車生産台数が大きく回復した影響により前年同期を上回り好調に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を下回りましたが、新車用の回復により前年同期並に推移しました。米州では、北米タイヤ事業における乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響が大きく前年同期を下回りました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用大型・超大型ラジアルタイヤの販売本数は、生産能力増強の効果もあり前年同期を上回り好調に推移しました。この結果、売上高は12,375億円(前年同期比1%増)となり、営業利益は1,196億円(前年同期比33%増)となりました。

多角化部門では、自動車関連部品やBSAM多角化における建材事業などで需要回復の影響もあり、売上高は2,604億円(前年同期比6%増)となり、営業利益は140億円(前年同期比267%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、受取手形及び売掛金が399億円減少したものの、有価証券が563億円、商品及び製品が305億円、投資有価証券が154億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,117億円増加し、27,891億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、未払金が358億円、長期借入金173億円、それぞれ減少したものの、短期借入金506億円、商業・ペーパーが136億円、社債が132億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ248億円増加し、15,365億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより93億円減少したものの、四半期純利益の計上により752億円、その他有価証券評価差額金が137億円、為替換算調整勘定が25億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ868億円増加し、12,525億円となりました。その結果、自己資本比率は43.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.3ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 前期実績との比較

当期の当社グループを取り巻く環境は、為替円高の定着、欧州財政危機の深刻化や新興国経済の減速懸念に加え、当社グループが直面する世界的な需要構造・競争構造の急速な変化により、引き続き不確実性の高いものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿った施策を確実に実行することにより、以下の全体業績を見込んでおります。

[連結業績予想]

当期の連結業績予想

		当期予想 (自 2012年1月1日 至 2012年12月31日)	前期実績 (自 2011年1月1日 至 2011年12月31日)	増減	
				金額	比率
		億円	億円	億円	%
売上高		31,300	30,243	+1,056	+3
営業利益		2,870	1,913	+956	+50
経常利益		2,690	1,793	+896	+50
当期純利益		1,720	1,029	+690	+67
為替レート	1米ドル 当たり	79円	80円	—	△1
	1ユーロ 当たり	99円	111円		△11

② 前回予想からの修正

第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益については、需要減少により販売数量は計画を下回りましたが、原材料・素材価格が想定を下回り推移したことや費用の抑制などにより前回予想を上回りました。併せて、2012年5月9日の第1四半期決算発表時点では見直しを行っていなかった下期業績予想の見直しを行い、通期業績予想について修正いたしました。

・業績予想に関する注意事項

当資料の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,343	139,751
受取手形及び売掛金	438,764	398,859
有価証券	90,133	146,440
商品及び製品	314,454	345,028
仕掛品	34,614	37,613
原材料及び貯蔵品	171,411	178,150
その他	152,102	167,254
貸倒引当金	△8,109	△7,910
流動資産合計	1,323,716	1,405,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	322,704	329,024
機械装置及び運搬具（純額）	347,195	344,190
その他（純額）	311,432	318,944
有形固定資産合計	981,331	992,160
無形固定資産	27,943	30,569
投資その他の資産		
投資有価証券	182,536	197,956
その他	165,116	167,056
貸倒引当金	△3,299	△3,824
投資その他の資産合計	344,353	361,187
固定資産合計	1,353,628	1,383,917
資産合計	2,677,344	2,789,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,742	183,133
短期借入金	198,115	248,756
コマーシャル・ペーパー	18,933	32,534
1年内償還予定の社債	13,174	82,711
リース債務	754	931
未払法人税等	22,854	33,999
未払金	148,756	112,904
その他	198,398	203,160
流動負債合計	797,730	898,132
固定負債		
社債	123,079	66,834
長期借入金	238,474	221,125
リース債務	10,061	10,605
退職給付引当金	257,630	256,028
その他	84,694	83,822
固定負債合計	713,940	638,415
負債合計	1,511,671	1,536,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,629	122,628
利益剰余金	1,279,978	1,345,881
自己株式	△57,248	△57,245
株主資本合計	1,471,713	1,537,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,750	111,469
繰延ヘッジ損益	△890	△674
為替換算調整勘定	△331,784	△329,207
在外会社の退職給付債務等調整額	△106,211	△104,755
その他の包括利益累計額合計	△341,135	△323,167
新株予約権	770	1,100
少数株主持分	34,324	37,006
純資産合計	1,165,673	1,252,557
負債純資産合計	2,677,344	2,789,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)
売上高	1,459,125	1,488,970
売上原価	996,295	990,245
売上総利益	462,829	498,725
販売費及び一般管理費		
販売運賃	66,591	62,591
広告宣伝費及び販売促進費	45,804	44,085
給料手当及び賞与	93,210	95,897
退職給付費用	7,089	7,945
減価償却費	11,662	11,512
研究開発費	41,362	41,096
その他	103,481	101,810
販売費及び一般管理費合計	369,201	364,939
営業利益	93,628	133,785
営業外収益		
受取利息	2,156	1,639
受取配当金	3,028	3,968
雑収入	10,095	9,479
営業外収益合計	15,280	15,087
営業外費用		
支払利息	8,560	8,685
為替差損	61	3,677
雑損失	8,406	7,528
営業外費用合計	17,028	19,891
経常利益	91,880	128,981
特別損失		
減損損失	4,676	11,613
災害による損失	2,376	—
事業撤退損	—	2,903
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,471	—
特別損失合計	9,524	14,516
税金等調整前四半期純利益	82,356	114,464
法人税等	25,227	35,692
少数株主損益調整前四半期純利益	57,128	78,771
少数株主利益	3,012	3,504
四半期純利益	54,115	75,266

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,128	78,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,059	13,715
繰延ヘッジ損益	△91	258
為替換算調整勘定	11,929	2,047
在外会社の退職給付債務等調整額	3,164	1,456
持分法適用会社に対する持分相当額	△662	616
その他の包括利益合計	35,398	18,093
四半期包括利益	92,526	96,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,655	93,235
少数株主に係る四半期包括利益	2,871	3,630

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2011年1月1日 至 2011年6月30日）

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,220,058	239,066	1,459,125	—	1,459,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,222	6,059	7,282	△7,282	—
計	1,221,281	245,126	1,466,408	△7,282	1,459,125
セグメント利益(営業利益)	89,778	3,828	93,606	21	93,628

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第2四半期連結累計期間（自 2012年1月1日 至 2012年6月30日）

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,235,685	253,284	1,488,970	—	1,488,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,839	7,211	9,051	△9,051	—
計	1,237,525	260,496	1,498,022	△9,051	1,488,970
セグメント利益(営業利益)	119,694	14,060	133,755	30	133,785

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。